

ベニイトトンボ

Ceragrion nipponicum

兵庫県：A

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

腹長27～33mm、後翅長18～23mm程度。♂は鮮やかな赤紅色で無斑、♀は橙褐色。平地から丘陵地の抽水植物や沈水植物、浮葉植物が繁茂し、周囲に木陰のある古い池沼などに生息する。成虫は5月～10月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、明石市、西宮市、伊丹市、三木市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

過去に、本四架橋に関連する道路建設で神戸市内の多産地が一気に消失した経緯がある。その後神戸市内で散発的な発見報告が出た。平地から丘陵地にかけての、市街地に取り残された古い池沼に生息していることが多く、現在残された生息地のほとんどは都市公園や森林公園などに取り込まれている。各個体群は分断化し孤立していて、個体数変動による遺伝的多様性の減少が危ぶまれる。またある生息地にはイトトンボ類を捕食するブルーギルが確認されていて、脅威となっている。

保護上の留意点

産卵基質・幼虫の生息場所が沈水植物や浮葉植物の沈水部分の中なので、池の清掃の際、こういった植物を一斉に取り除かないこと。